

南一小だより

5月号



学校教育目標：やる気と笑顔あふれる一小っ子

大阪狭山市立南第一小学校

令和5年（2023年）4月28日

学校・保護者・地域が一体となって

校長 濱田 裕嗣

始業式から3週間が経ちました。子どもたちの中には、緊張してスタートした子もいたことと思いますが、新しい学年・クラスに少しずつ慣れてきているように感じます。一方で、そろそろ新年度の疲れが出始める時期ではないでしょうか。明日からゴールデンウィークが始まり、来週には5連休があります。行動制限が緩和される中での休日となり、ご予約を立てられているご家庭も多いのではないのでしょうか。この3週間で確立された生活習慣を崩すことなく、元気に過ごしていただくことを願っています。

5月8日からは、新型コロナウイルス感染症が5類に変更されます。これに伴い、新型コロナウイルス感染症に罹患した際の自宅療養期間や濃厚接触者の取扱いなどが変わります。

これまで、できなかった教育活動や行事を再開できるようになっていきます。このタイミングをよい機会ととらえて、以前の状態に単純に戻すのではなく、今の状況や児童の実態に合わせたものにバージョンアップしていきたいと考えております。

南第一小学校に赴任して1か月ほどが経ちました。毎日、何人もの子どもたちが「こうちょう先生 はまだ先生」と声をかけてくれています。子どもたちにとっては何気ない一言なのかもしれませんが、声をかけてもらうと、とても心が温かくなります。人懐っこい一小っ子です。また、朝、校門に立っていると、元気な「おはようございます！」の声が届きます。このように自分からコミュニケーションを図ることができる力は、子どもたちが生きていくこれからの時代に非常に重要な力です。しかし、当然ながら自分から積極的に声をかけることが苦手な子どももいます。自分から声をかけられないことが悪いのでは決してありません。掃除を一生懸命できる子や字を丁寧に書ける子など、すべての子どもたちに「いいところ」が必ずあります。この一人ひとりの「いいところ」を伸ばしていけるよう、教職員一同、日々の教育活動を行っております。

子どもの力を伸ばしていくためには、学校だけでは限界があります。保護者の皆さま、地域の方々の力が必要です。みんなで一緒になって子どもたちの成長のために取組みを進めていきましょう。

5月も、本校教育活動へのご理解、ご協力をお願いいたします。